



## われら海の子 YMCAで海洋学習

ジャンボカヌーやカヤックなど海洋学習を通して海に親しむ心を育む「阿南海の子プログラム」が、6月12日からYMCA阿南国際海洋センターで行われ、市内小学校4年生や教職員が海の学びを体験しました。児童らは、センター職員からパドル操作の指導を受け、自らの力で海に漕ぎ出しました。本事業は、市制施行60周年、同センター開場50周年事業として実施されました。

## 市庁舎が「建築と社会」賞を受賞

市庁舎が、社会性や環境などに配慮した建築作品を顕彰する第17回「建築と社会」賞（主催：一般社団法人日本建築協会）を受賞しました。市庁舎の開放的な吹抜空間「あなんフォーラム」と免震装置による防災機能の両立に加え、自然換気や太陽光発電システムなど省CO<sub>2</sub>モデル庁舎として環境に配慮した構造が高く評価されました。6月21日にはOMMビル（大阪市）で同賞表彰式が行われました。



## 親子交流の場 ファミサポ七夕交流会

子育て仲間の交流の場を作ろうと阿南ファミリー・サポート・センターが企画した「七夕交流会」が、6月30日にひまわり会館で開かれ、親子など約200人が参加しました。会場は、阿南シンフォニックバンドが演奏するアニメソングに合わせて、元気な声で歌う子どもたちで大盛り上がり。「はらぺこあおむし」の劇や、さまざまなワークショップが行われ、親子で楽しみ、また近い年のお友達と触れ合う機会になっていました。

## 「更生保護」暴力の連鎖を止める思いやり

非行や犯罪に陥った人の更生支援活動として、私たちにもできることを考えようと「地域との連携・協働活動シンポジウム」が7月12日、文化会館で開催され、約400人が参加しました。パネラーのNPO法人再非行防止サポートセンター愛知の理事長 高坂朝人さんは、非行少年時代に「信頼できる人との出会いと愛情」で更生できた経験を伝えました。参加した阪井太加江さん（見能林町）は、「温かい声かけや、第三者へ親切を送る〝恩送り〟が、社会に正の連鎖を起こすのですね」と話していました。



市ホームページからご覧いただけます。  
<http://www.city.anan.tokushima.jp/>

# News Oasis



## 平等寺本堂からの眺望 四国八十八景に選定

四国の素晴らしい景観88カ所を選定する「四国八十八景プロジェクト」で、本市から「平等寺から眺めるお大師さん」が選ばれました。小高い位置にある平等寺本堂から見える山々は、お大師さんがゆっくり休んでいるように見える、ほのぼのとした空間が広がっています。今後、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、新たな観光名所としてPRされます。

## 豪雨被災地で支援活動

7月上旬に西日本を襲った豪雨災害で、徳島県市長会や日本水道協会から依頼を受け、市職員や給水車などを愛媛県宇和島市に派遣し被災地支援を行っています。また、緊急消防援助隊の徳島県大隊で市消防本部から職員4人、車両1台を広島県に派遣しました。



## コンパクトなまちづくり 審議会を開催

都市機能や住宅をまちの中心部等に計画的に誘導し、コンパクトなまちづくりの形成を促進する「阿南市立地適正化計画」の策定をめざす「第1回阿南市魅力ある都市づくり審議会」が6月29日、市役所で開催されました。本計画は、今後急速に進む人口減少と高齢化社会を見据え、持続可能な都市づくりをめざすもの。また、本計画の具現化を図る「JR阿南駅周辺再整備基本計画」も併せて検討し、今年度内の策定をめざします。

## 市庁舎で映画撮影 市民がエキストラ参加

美波町を舞台にサテライトオフィスを構えたIT企業の社長と地元住民との触れ合いを描く映画「波乗りオフィスへようこそ」の撮影が、5月29日から6月18日にかけて行われました。6月16日には、企業と自治体のマッチングイベントの場面が市庁舎で撮影され、市民など47人がエキストラなどで参加し、一役買いました。映画は、俳優の関口知宏さんやミュージシャンの宇崎竜童さんなどが出演。来春公開予定です。

